



はばたき TEA TIME



伝わりやすい言葉かけ

はばたきでは、様々な課題に対し、児童の実態に合わせた学習を行っています。中には、相手の気持ちを考えたり、話し言葉を理解したりすることが苦手な子もいます。これは、見えないものに対して想像力を働かせることが難しいからです。そのため、何度言葉で注意しても行動や態度をなかなか改めることができません。

このような子供たちにも伝わりやすい言葉かけの工夫があります。

1. 話しかけるときは、子供の視線の中に入る。



関心をこちらに向け、視線を合わせてから話す。



興味関心が非常に狭いところに向かう

2. 指示を出すときは、言葉と視覚情報を併用する。



話す言葉を減らし、絵や写真を使う。
※背景は何もない方が伝わりやすいです。

言葉をかけ過ぎると混乱する

3. 注意をするときは、短い言葉で「〇〇してね」と言う。



正しい行動を短い言葉で伝える。



否定的な言い方をされると、何をすればよいか分からない

4. できたことを認めてあげる言葉かけをする。



小さなことでもできたことを褒める。

マイナスな記憶のほうが心に残りやすい

☆言葉かけを工夫して伝わりやすい方法を考えていくことが大切です。

ご家庭でもぜひ取り組んでみてください。

